

令和5年度 事後評価シート

施策	13 全ての子どもたちの学びの保障
K G I	①1,000人当たりの不登校児童生徒数 小・中学校 【基準値】22.0人（令和3年）【目標値】20人 ②1,000人当たりの不登校児童生徒数 高校 【基準値】16.5人（令和3年）【目標値】13人

【細施策シート】

【細施策シート】							担当部局		教育委員会							
細 施 策		13-1	いじめ対策の推進					施策KGI		①・②						
K G I		いじめを受けた児童生徒のうち相談した割合														
		KGI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		時点・期間	R 4 .10（R3年度分）		時点・期間	R 5 .10（R4年度分）		時点・期間	R 6 .10（R5年度分）		時点・期間	R 7 .10（R6年度分）		時点・期間	R 8 .10（R7年度分）	
		現状値	98.1	%	目標値	100 %		目標値	100 %		目標値	100 %		目標値	100 %	
					実績値	96.9 %		実績値	%		実績値	%		実績値	%	
					達成率	96.90 %		達成率	%		達成率	%		達成率	%	
					判定	未達成		判定			判定			判定		
5 年 度	要因分析 【必須】		「いじめ等相談体制構築事業」や「いじめSTOP愛顔の子どもサポート事業」により、相談窓口の設置及び周知や、子どもが主体となったいじめ防止の取組推進を図ってきたが、児童生徒を対象に実施したアンケートで「周りに心配をかけたくない」「相談することでいじめが悪化するのではないかと不安」等の意見が寄せられるなど、相談に踏み切れない児童生徒がいたことから、未達成となった可能性がある。													
	改善の方向性 【必須】		KGIの目標達成に向け、相談することへの不安を払拭するためには、児童生徒が自ら考えるいじめの起こりにくい学校づくりに向けた取組みの強化が有効であると考えられることから、県下全ての小中学校をオンラインでつなぐ一斉ライブ授業「えひめいじめSTOP!デイ」の内容を拡充するとともに、児童生徒の人間関係構築力を育成していくための新たな取組みも合わせて検討する。													